

平成28年度第4回理事会

1. 期 日 平成 28 年 9 月 11 日(日)10時から 15時 00 分まで

2. 会 場 青森市民病院 3 階小会議室

10/15(出席率) 67 %

船水憲一	佐藤兼也	森脇公洋	福士正広	成田将崇	石倉牧人	川村匡敦	西村秀行
○	×	○	○	×	×	○	○

片岡郁美	三浦隆司	澤橋政美	岩瀧昌善	須崎勝正	小澤友昭	大湯和彦
×	○	○	○	○	○	×

監事	稲葉孝典	工藤亮裕
	○	×

船水会長が議長を務め、議事録作成人に福士理事、議事録署名人に小澤理事を指名し、理事会を開催した。

3. 内 容

【報告 1】 X線 CT 認定技師指定講習会 (報告 船水)

当日の仕事は、受付と懇親会の設定のみと聞いていたものが、技師会主催の会であり、認定機構では、講師を派遣するだけということになっていた。この2日間の講習は、他県でも行って来たものであるが、講師の方々は、自分の講義が終了するとすぐ帰られるようで、講習会の全容を知る人がいないということも分かった。組織図等でイベントの構図を確認することが必要と思われた。講師は、派遣されたにもかかわらず、旅費、交通費は、技師会への申請となっており、これまでとは異なった支給方法となった。チケット等のコピーを添付するなど、講師への負担が大きかったと思われた。参加者は、60名中2名が欠席した。会場がわかりにくいとの指摘もあった。本部から届いた荷物の中には、携帯電話があり、非常時連絡用となっていたが、どのような使い方をするのかが、誰もわからず、半日過ぎるまで電源を入れていなかった。欠席の2名の方が連絡用に使わないことを祈るばかりである。当日は、物品の配布、確認テスト、司会等、意外とやるが多かった。特に、物品回収の数合わせは、大変だった。技師会からのマニュアルを確認すると、講師への水も準備するべきだったのではと思われた。また、確認試験の不備もあったが、問い合わせ先が不明だった。今回は、認定機構の井田代表世話人がいらしてくれたため、技師会への問い合わせをしていただいて、收拾がついた。

※ 支払われなかったホテル代は、県技師会が負担することで了承された。

【報告 2】 原子力防災訓練について (9月7日会議報告) (報告 工藤 代理 稲葉)

別紙 1

※ 森脇副会長も参加を検討。むつ病院へは森脇副会長が打診する
参加の意思は9/20まで

【報告 3】 クラウド、HP 理事勉強会開催のお知らせ。(報告 稲葉)

技師会理事用クラウドの勉強会並びに、HP の勉強会 (Facebook 含む) を 10 月 15 日 (土) 青森市民病院で開催予定である。

- ①さまざまな資料や公文書番号など外部サーバーに保存し、データを共有
- ②個人情報のセキュリティから ID、パスワード管理が必要
- ③特定理事がハードディスクや PC にデータ保存している。万一入院など業務ができなくなった場合データの保存場所が分からなくなることを防ぐ

【報告 4】 JART 都道府県サーベイチームの登録について

別紙 3

4 月に標記依頼が JART からあった。

兼ねてから本会では災害派遣（訓練含む）は

- ① 災害派遣は公務災害の観点から、県知事など自治体の首長名での派遣が必要である。よってボランティアでの参加は放射線災害に関しては行わない。
- ② 被ばくだけの問題ではなく、現地への移動など途中で発生する恐れがある様々な事故や事件に対して、派遣を要請する JART および本会になんの保障をするすべがなく（示されず）、会員を勧誘することはしない。

以上のことは、JART 災害対策委員会でも提言している。執行部はボランティアで参加する以外に方法がないことを当時は認識している。島根県や近畿広域での協定を受け、全国的に展開するのであろうが、上記以外に本会は青森県の指定団体としてチームを作ることを最優先とする。今回依頼されたチームは 7 名～30 名であり、この人数の確保は困難。

以上のことから、9 月 9 日船水会長に JART から督促があり、検討中と回答した。詳細（上記）は稲葉から JART 災害対策委員会北川理事にメールで回答する。

【報告 5】 その他 執行役員業務報告

別紙

森脇副会長から執行役員の業務報告が行われた承された。

【検討 1】 統一講習会 八戸（青森労災病院） 9 月 24（土）、25（日）以下の項目の確認

検討 5

- (ア) スタッフ、役割、責任分担（配布、受付、会計、回収、物品、司会）
- (イ) 講師
- (ウ) 集合時間
- (エ) 荷ほどき（数量確認、内容確認、緊急連絡確認、会場確認、照明確認、空調確認、音響確認（ワイヤレス乾電池、ワイヤード）、講師控室確認、昼食会場確認
- (オ) 受付確認、講師水、謝金、手続き書類、懇親会、宿泊
- (カ) 荷造り（数量確認、内容確認、ごみ等）

【検討 2】 血管模型講習会 五所川原（つがる総合病院）10 月 1 日（土）以下の項目の確認

検討 4

- (ア) スタッフ、役割、責任分担（配布、受付、会計、回収、物品、司会）
- (イ) 講師
- (ウ) 集合時間
- (エ) 荷ほどき（数量確認、内容確認、緊急連絡確認、会場確認、照明確認、空調確認、音響確認（ワイヤレス乾電池、ワイヤード）、講師控室確認、昼食会場確認
- (オ) 受付確認、講師水、謝金、手続き書類、懇親会、宿泊
- (カ) 荷造り（数量確認、内容確認、ごみ等）

※ 9/13（火）の事務所 FAX をもって、募集は最終とする。

【検討3】統一講習会 青森（県立中央病院） 10月8（土）、9（日）以下の項目の確認

検討5

- (ア) スタッフ、役割、責任分担（配布、受付、会計、回収、物品、司会）
- (イ) 講師
- (ウ) 集合時間
- (エ) 荷ほどき（数量確認、内容確認、緊急連絡確認、会場確認、照明確認、空調確認、音響確認（ワイヤレス乾電池、ワイヤード）、講師控室確認、昼食会場確認
- (オ) 受付確認、講師水、謝金、手続き書類、懇親会、宿泊
- (カ) 荷造り（数量確認、内容確認、ごみ等）

【検討4】乳がん学校 青森（青森市民病院）10月15日（土）以下の項目の確認

検討6

- (ア) 予算（補助金の額）、内訳、手配・準備の確認と今後
- (イ) スタッフ、段取り、検討 担当者の自腹、引き継ぎの検討

- ※
- ① スタッフ日当は本会規程の日当とする
 - ② 講演はすべて本会規程で講師料を支払う
 - ③ ロールプレイの医師旅費は自己負担
 - ④ 医師以外のメディカルスタッフは旅費規程により請求があれば支給
 - ⑤ 通信費がかかりすぎる。開催案内は葉書で行い、HPへ誘導。
 - ⑥ 昨年 印刷は技師会コピー機を使用。トナー代含め3万円程度かかっている。
 - ⑦ 会計は、本会会計担当理事が清算する（富士理事から片岡理事へ連絡）
 - ⑧ 片岡理事の後任は今回の参加者を見て後日協議する

【検討5】東北放射線医療技術学術大会 秋田 10月22,23日

別紙7

- (ア) 実行委員 各担当部分 見学
- (イ) 受付、スライドセンター、会場、マイク、プロジェクター、アナウンス
- (ウ) 式典、開会式、シンポジウム、特別講演、ランチョン
- (エ) 情報交換会
- (オ) その他
 - (ア) テーマの説明
 - (イ) 技師会イベント、その他の説明
 - (ウ) 一般演題は、1次募集で締め切る
 - (エ) ランチョンは2日で8社、1社当たりの金銭的負担を軽減
 - (オ) 情報交換会の場所が懸念！
 - (カ) 配布ポスターはA4版にしようと思う（大きなポスターの貼り付け場所がない、配布されて困るようなものは作らない）。
 - (キ) 公開講座は、医療職になろうとしている方々をターゲットにする。保険大学の看護師、理学療法士、中高生。ポスターはA4判をばらまく。個人的に配布したほうが集客に期待できる。
 - (ク) 必要書類の整理、役割分担（趣意書、座長依頼、講師依頼、演者依頼
 - (ケ) 会計の整理（会場、コンベンション、講師旅費、実行委員日当、旅費、食事、会議費等）
 - (コ) ホームページ（技師会、技術学会各1名）
 - (サ) 表彰
 - (シ) 受け付け、機器展示、PCセンター、クロークの設営場所

- (ス) 実行委員の把握、宿泊先手配、旅行社
- (セ) 案内はがきの作成、事前登録、コンベンション用宿泊先登録を可能なら HP で
- (ソ) さらに、情報交換会の参加人数を大方知りたい。
- (タ) 実行委員は無料とするが、会場整理等の手伝いを願う。
- (チ) 情報交換会の段取り
- (ツ) 予算書を年内に作成したい。
- (テ) プログラム委員会、来年のための演題募集をアピール

※ ① 世話人会は平成 29 年 10 月 27 日（金）青森駅前 ワ・ラッセ
実行委員会のホテルはスーパーホテル青森に 30 人分確保

- 【検討 6】 東北放射線医療技術学術大会 青森実行委員会
 11 月 12 日（土） 15:00 青森市民病院 大会議室
- (ア) 実行委員紹介
 - (イ) テーマ、主イベント説明
 - (ウ) スケジュール、プログラム委員会

【検討 7】 統一講習会 弘前 11 月 26（土）、27（日）以下の項目の確認

別紙 5

- (ア) スタッフ、役割、責任分担（配布、受付、会計、回収、物品）
- (イ) 講師
- (ウ) 集合時間
- (エ) 荷ほどき（数量確認、内容確認、緊急連絡確認、会場確認、照明確認、空調確認、音響確認
 （ワイヤレス乾電池、ワイヤード）、講師控室確認、昼食会場確認
- (オ) 受付確認、講師水、謝金、手続き書類、懇親会、宿泊
- (カ) 荷造り（数量確認、内容確認、ごみ等）

【検討 8】 東北 CT 技術研究会の技師会ポイントについて

代表世話人 東北大学病院 梁川さんから JART のポイントが付けられないか打診あり
 東北地域会長会議で船水会長から永峰理事に打診してもらう

※ 小澤理事から研究会事務局 佐藤さんに連絡する

【検討 9】 その他

表彰関係

- ① 地域役員功労表彰対象者 3 名。JART 表彰委員会が最終的に判断するので 3 名推薦する
- ② 30 年勤続表彰未受賞者（当時辞退）には永久会員資格など説明した文書を配布し、受賞の意思が返ってきている。詳細は次回報告。
- ③ 平成 29 年度は JART 70 周年記念式典で厚生労働大臣表彰者を推薦する
 満場一致で工藤監事を推薦し、森脇副会長から打診
 関係書類には須崎理事も協力

【議案 1】 会計ソフト及び PC の購入

別紙 8

会計ソフト 購入 50 万円 保守契約 5 年（年間 5 万円）合計 25 万円で UP

現在保有 PC ①事務局職員用 Win-XP ②総務稲葉 Win-7 ③会計福士 Win-7 ④画像部会 Win-7
⑤液晶画面にコイン型の黒いシミ (③より古い PC)

8月 会計の PC が故障した。同型機が事務所にあったためこの PC を流用

Win10 が主流であり、すべての PC が購入から 5 年以上経過している。

- ① 事務局職員用 ③の PC 使用
- ② 会計用 新規購入
- ③ 総務用 新規購入
- ④ 学会用 (小型) 新規購入

【議案 2】入会会員の承認

別紙 9

資料 No16 17 19 の会員入会が承認された。

【日程の確認】

11 月 12 日 (土) AM10:00 中間監査 (技師会事務所)
PM 1:00 常務理事会 (技師会事務所または市民病院)
PM 3:00 第 7 回東北地域放射線技術学術大会実行委員会 (市民病院)

以上

本書は議事録に相違ない。

平成 28 年 9 月 10 日

青森市安方二丁目 17 番 15-802 号
ライオンズマンション新町通
公益社団法人 青森県診療放射線技師会

議事録作成人 福 士 正 広

議事録署名人 小 澤 友 昭

代表理事 船 水 憲 一

監事 稲 葉 孝 典

監事 工 藤 亮 裕